

9月15日（水）、寺井地区公民館で行われた能美市婦人団体協議会主催 リーダー研修会にて、SDGs 出前講座を行いました！



今回は、婦人会だけでなく壮年団の代表の方にもご参加いただき「婦人会・壮年団の活動をSDGsの視点で再確認」することを目標にしたワークショップを実施。

SDGsについての理解を深めるとともに、婦人会・壮年団の活動がどんなことにつながっているのか、貢献しているのか、どんな新しい可能性があるのかを考えました。

1. 整理

まずは、婦人会・壮年団の活動がSDGsのどのゴール達成につながるかを考える作業です。



数ある活動から2つを選び、その活動が関連するSDGsのゴールを貼っていきます。



17のゴールを一つひとつ確認しながら、活動を通して達成できるものを考えました。

2. 点検

活動の整理ができれば、次は点検です。整理した活動がさらに多くのSDGsのゴールに貢献できるようにアップデートするには、どんな工夫ができるかを考えます。



ゆずみんチームは、チャリティーバザーの活動を点検。チャリティーバザーを通して「ゴール3：すべての人に健康と福祉を」を達成するための工夫を考えます。



点検のワークはなかなか難しく、みなさん真剣に頭を捻っている様子も。

3. 発表

最後に、グループワークで話したこと、考えたことを代表の方に発表していただきました。いくつかのグループを紹介させていただきます。



壮年団の活動である「いこいの杜の整備・支援」を整理・点検したひぽのんチームは、点検の際、あえて一番遠そうな目標「14：海の豊かさを守ろう」を選びました。

「活動するときに自然に触れ、森や緑を守ろうという意識だけでなく、自然の大切な一部である海も守っていかうという意識づけができれば達成に少しでも近づくのでは」、と話してくださいました。



九谷焼チームは、海岸清掃活動を取り上げ、「11. 住み続けられるまちづくりを」「12. つくる責任 つかう責任」「13. 気候変動に具体的な対策を」などに貢献できていることを再確認。

これからさらに「4. 質の高い教育をみんなに」に貢献するため、「ゴミを捨ただけじゃなく、ゴミを出さない工夫やゴミの原料も伝えながら、教育的な要素も取り入れられそう」とお話しくささいました。



加賀まるいもチームが選んだ清掃活動は、海や陸の豊かさを守ったり、安全な水、暮らしやすいまちづくりなど、たくさんのゴールにつながっています。

さらに「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」の視点で活動をアップデートする方法を検討してくださいました。

「いろんな世代に参加してもらって、清掃しながら年配の人からは町の歴史、若い世代からは最近の流行のものについて教え合う場にもできそう」「男性の仕事、女性の仕事、と区別せずにできることをできる人がやるような体制にも、工夫次第でできそう」など、これまでにない取組でありながら、実現できそうなアイデアが発表されました。



参加者の方からは、「普段の活動中にも、SDGs とのつながりがあることを知りました。今後は意識して取り組んでいきたいと思います。」など、嬉しい感想をいただきました。